

元気っ子・田植え初体験

◇◇◇佐保台小ファーム（5年目）

佐保台小ファーム5年目は、19名の“元気っ子”が水稻栽培にチャレンジ。今年は北側に赤米を南側には紫黒米を植え付けた。南北水田の真ん中に水路を通し、水管理等も便利になった。本格的な畦捏ねや畦板シートの敷設等も行い、例年にない早い梅雨入りや今年の猛暑による生育への影響等を考慮し、担任の先生と日程調整。6月6日、曇り空で暑くもなく絶好の田植え日よりとなり、元気っ子達の声が、ならやまにこだました。

田植えの要領について説明を聞き、一人当たり約150株の植え付けにチャレンジした。初めは戸惑いがちだったが次第に手つきや足取りも慣れ、手際よく田植えが進んだ。

早速、初めての体験について感想文を寄せてくれました。

- ◇ 田んぼに入った時、「とても気持ち悪いな！」と思ったけれど、次第に慣れて最後にはとても気持ち良く楽しかったです！
- ◇ はじめは田んぼに入るなんていやだなと思った。でも少し経つと気持ち良くなり、稲を植えるのは楽しくなりました。
- ◇ 田の神、山の神について詳しく調べてみたいと思います。7月に来た時にどれだけ成長しているかが楽しみです。
- ◇ 生まれて初めての体験でした。簡単だろうとおもっていましたが、意外と難しかった。
- ◇ 自分たちが植えた稲が、秋になって稔り、おいしいお米になるんだなあと思うと、とても楽しみです。
- ◇ 少し疲れたけれど、植え終わった時は、とてもすっきりとした気分になりました。
- ◇ 苗を3本持って泥に入れると苗は立ちました。思わず「やったー」と叫びました。
- ◇ 最初の半分程は上手く植えられませんでした。途中から少し深く植えてみると倒れなくなりました。もう一回田植えをしてみたい！と思いました。

- ◇ 田植えをしてくれた人が、隣の田んぼで田植えをしているのを見てみると、真っ直ぐで植え方の速いのには驚きました。
- ◇ 植え終わった時には、「やったぞ！」「もっとやりたいなあ！」など、達成感がわいてきました。
- ◇ 田植えの土が温かく柔らかかったので、ずっと田んぼの中にいたいと思いました。
- ◇ パラタナゴ（♂）を見せて貰った。本当に綺麗な色をしていた。
- ◇ 泥の中で足を動かせば動かすほど沈んでいき、上は柔らかいけど下は地獄みたいな感じで足が抜けなくなっていました。
- ◇ 最初のうちは転びそうになったり、苗が斜めになってしまったり大変でした。でも次第に慣れてくると綺麗にできるようになり、嬉しくなりました。
- ◇ 7月11日の成育観察が待ち遠しいです。3本が何本になっているのか楽しみです。



どきどきわくわくしていた様子など、初めての体験から感じたことを率直に表現してくれています。そして、これからの体験観察学習を楽しみにしている様子などが、どの感想文からも伝わってきます。

7月中旬に生育観察、秋には稲刈り、稲架け、脱穀、粳摺りなどが予定されており、これらの体験をきっかけにして、子ども達が農業に対して興味関心を抱いてくれるものと確信しています。

(鈴木末一)